資料3

普天間飛行場跡地利用等に関する情報発信等の取組報告

| 1 | 県内への情報発信の継続1 |
|---|--------------------|
| 2 | デジタルコンテンツ拡充方法の検討 3 |
| 3 | 跡地利用に係る教育と連携方法の検討 |

1. 県内への情報発信の継続:普天間飛行場跡地利用パネル展の開催

● 来場者数:448人、アンケート回答:165票

● アンケート結果・・・跡地利用の取組:81%が評価、パネル展の満足度:97%が評価

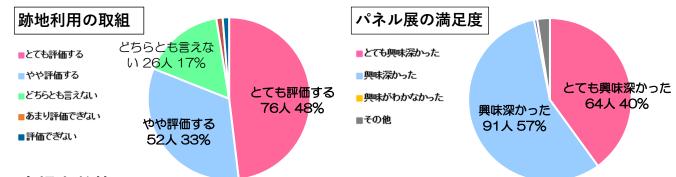
①開催場所・日時 (2会場×2日間)

- サンエー那覇メインプレイス : 令和6年11/23(土)~24(日)
- サンエー浦添西海岸パルコシティ:令和7年 1/18(土)~19(日)

②展示内容

- 中間取りまとめ(第2回)の説明パネル(大人向け、子供向け各10枚)
- AIを活用したデジタルコンテンツ体験(P3参照)

③アンケート結果(跡地利用の取組評価・パネル展満足度)



■来場者数等

| サンエー那覇 開催場所 メインプレイス 3 階エントランス | | サンエー浦添西海岸 パルコシティ 4 階エントランス | | | 合計 | | |
|---|----------|---|-------|---------|---------|-------|-------|
| 開催日 | 11/23(土) | 11/24(日) | 計 | 1/18(土) | 1/19(日) | 計 | |
| 来場者数 | 58人 | 110人 | 168人 | 137人 | 143人 | 280人 | 448人 |
| アンケート回収数 | 29票 | 34票 | 63票 | 52票 | 50票 | 102票 | 165票 |
| 回収率 | 50.0% | 30.9% | 37.5% | 38.0% | 35.0% | 36.4% | 36.8% |

■開催状況



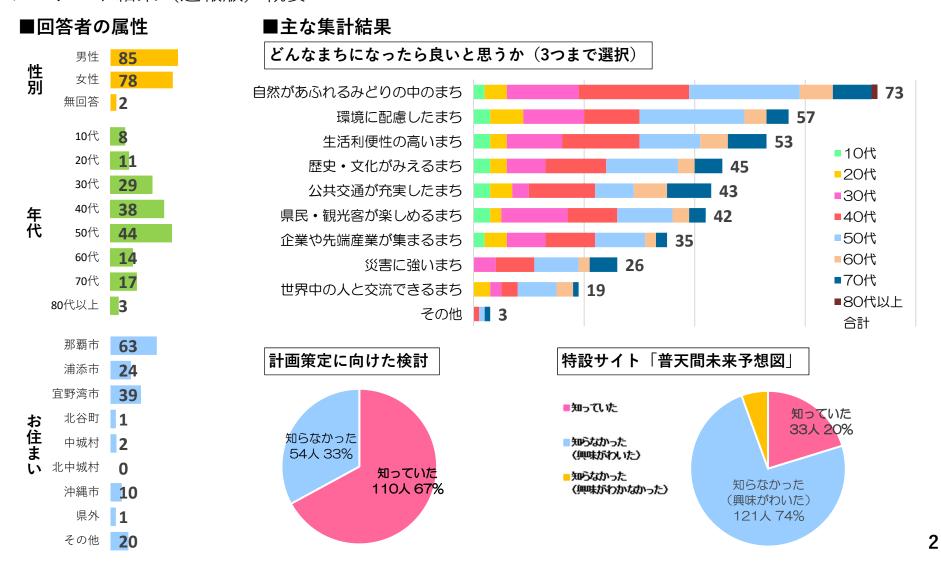




1. 県内への情報発信の継続:普天間飛行場跡地利用パネル展の開催

- 期待する跡地の将来像:①自然があふれるみどりの中のまち ②環境に配慮したまち ③生活利便性の高いまち
- 認知度…計画策定に向けた取組:約7割が認知、特設サイト:約2割が認知(約7割が関心をもった)
 - ⇒全体的に高評価をいただき、次年度以降も広く県民・市民等の意識醸成に繋がる情報発信を継続的に取組む予定。

アンケート結果(速報版)概要



2. デジタルコンテンツ拡充方法の検討

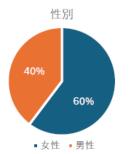
- 生成AIを活用したコンテンツの試験的な提供:「未来の普天間飛行場跡地をAIと一緒に描く体験」として子どもたちに未来の普天間のまちの絵を手書きで描いてもらい、画像生成AIによって実写レベルの画像で出力。情報発信における生成AI活用の効果を検証した。
- 体験者の感想…89%が満足に該当する「イメージ通り」「少しイメージが異なったが満足」と回答し、描いた絵がリアルに出力されることへの驚きや感動、今後の技術発展への期待の声が多かった。
- 親子間のコミュニケーションや教育の機会となり、子どもの創造力が喚起されている様子が見られた。また、リアルなビジュアルで跡地利用のニーズの方向性が視覚化され、来場者が子どもたちの考えを知ったり共感するきっかけとなっていた。

開催会場別参加者数と内訳 ※パネル展と同時開催

 サンエーメインプレイス
 2024年11月23日(土)、24日(日)
 25名

 サンエーパルコシティ
 2025年1月18日(土)、19日(日)
 43名







体験の様子

画像生成の例



大通りの両サイドに高層の建物と木々が立ち並ぶ。 背景に海が広がり、夕日がきれいな空。





真ん中に空飛ぶ鉄道が走っていて木が生い茂っている。 平屋がある。

3. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討

- ●高校生の探究学習の時間との連携:高等学校の探究学習の時間のテーマの選定や探究に係るフィールドワーク(㈱rokuyou主催)に参加し、まちづくりや駐留軍用地跡地利用に関して情報提供等を実施した。
- テーマ:2024夏休みフィールドワーク"見て・体感して・考える"まちづくり体験 ~普天間基地跡地を住みたいまちにデザインしよう!~
- ⇒跡地利用に高校生の視点からのアイディアを得るとともに、高校生が普天間飛行場跡地や地域の将来 のまちについて興味・関心を抱く機会となった。次年度以降も連携を継続していく。

○実施概要

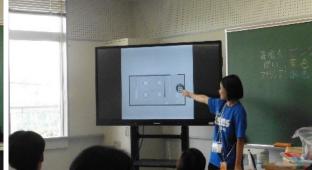
- ・実施日時:令和6年8月15日(木)
- ・参加者 : 宜野湾高校、普天間高校、青颯館高校(兵庫県)の生徒

計17名(県内12名、県外5名)

- ・下記について沖縄県・宜野湾市・委託コンサルが説明、質疑応答
 - ▶ まちづくりの視点、沖縄県内の駐留軍用地跡地利用の説明
 - ▶ 宜野湾市宇地泊地区(土地区画整理事業地区)のまち歩き
 - ⇒ 普天間飛行場跡地利用を考えるグループワーク、発表(全4班)

発表の様子







まちづくりの説明の実施



宇地泊地区のまち歩き



グループワークの様子

- 3. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討 ※宜野湾市の取組み事例
 - ●大学とのコラボ企画: 2 カ月間の講義・グループ学習・フィールドワークの成果を発表
 - 発表会…一般参加のもと、 2 年生・6 グループ毎に提案発表し、まちづくり専門の大学講師にて講評
 - 学生アンケート結果…ほぼ全員がまちづくりの知識・関心が高まり、授業満足度は約9割
 - ⇒前年度に引き続き今年度も多くの評価をいただき、次年度以降も継続的に取組む予定。
 - ■普天間飛行場の跡地利用とまちづくり ~今からできる身近なまちづくりの取組みを企画する~

| 沖縄国際大学×宜野湾市まちづくり講座コラボ企画 2024 | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| 沖縄国際大学生が考える | | | | | |
| 普天間飛行場の跡地利用を見据えた周辺のまちづくり | | | | | |
| 企画提案発表会。四 | | | | | |
| 普天間飛行場は全面返還が合意され、跡地のまちづくりが求められています。 私たち沖縄国際大学生は、普天間飛行場の跡地利用を見据え、周辺市街地における身近なまちづくりを考えることをテーマに、2か月にわたり演習的景を達してグループでまちづくりの企画を考えてきました。未来のまちづくりに向けた企画を提案し発表します。 ぜむご参加くださいし、 | | | | | |
| 2024年 12/17(火) 章前申L&3-7-8 無料 | | | | | |
| 14時00分~17時20分(開場13時40分) | | | | | |
| 会場 沖縄国際大学 厚生会館ホール (4階) | | | | | |
| 専用の駐車場は設けておりませんので、駐車場が満車となることが想定されます。 透閲してのご東州をおめけいたしますが、公共交通で関係してのご東州をお願いいたします。 近期間でのご東州をお願いいたします。 「理解腸りますようようしくお願いいたします。 | | | | | |
| プログラム ゲストスピーカー | | | | | |
| 14:00~16:35 第1部 学生による発表 「まちづくりの企画提案」 | | | | | |
| 低未利用地活用など。2016年頃より山口県宇部市の 中心市街地において公井空間を利活用した地域活性 化に携わり、現在「若者クリエイティブコンテナ(宇 部)」代表等を務める。 | | | | | |
| 第2部 16:40~17:20 | | | | | |
| ゲストスピーカーによる講演 堀江佑典氏 | | | | | |
| 「若者が地域に関わるまちづくり」 日本都市計画家協会 理事 北海は科学技術大学 客貝教授 昭和中株大会社 電景開発室 室長 | | | | | |
| | | | | | |
| 主 催:宜野湾市まち未来課 問い合わせ:昭和株式会社(河村・池村) TEL 098-876-5107 | | | | | |

| | 日時 | 内容 | | | |
|---|----------------------|---|--|--|--|
| | 10/8(火) | □ 講座の趣旨、スケジュール、これまでのまちづくり講座 □ 宜野湾市のまちづくりと普天間飛行場跡地利用について □ グループ分けとテーマ決め | | | |
| | 10/22(火) | □ 設定したテーマ(課題)の深堀調査 □ テーマに応じた具体的なゴールを思い描く | | | |
| | 10/29(火) | □ 課題を解決する具体のアイディア検討 □ フィールドワークで明らかにしたいことの整理 | | | |
| | 11/5 (火) | □ フィールドワーク先の検討と段取りの確認 □ フィールドワーク先への質問事項の整理 □ 具体的課題解決のたけのアイディアを実施する際 の収益やコストの検討 | | | |
| Ì | 11/12(火) | □ フィールドワークの実施 | | | |
| | 11/19(火) | □ 課題と解決アイディアに対するフィールドワーク を踏まえたブラッシュアップ□ 発表準備 | | | |
| | 11/26(火) 12/10(火) | □ 発表資料の作成とプレゼン準備 | | | |
| | 12/17(火) 企画提案発表会 | □ 主旨説明 5 [分] □ 学生による発表(一般公開) 1 2 0 [分] □ 外部講師による講演 4 0 [分] (山口大学 宋 俊煥 准教授 現地参加) | | | |





3. 跡地利用に係る教育と連携方法の検討 ※宜野湾市の取組み事例

- 小学生向けの出前講座 地域資源や跡地利用の説明、クイズ形式、イラスト作成・発表 等
- 小学校・・・授業参加日に行い、親子参加・交流も促しながら世代間・家族間で関心・興味を持っ てもらう ※令和7年1月、2月に市内小学校2校で開催予定

児童センター・・・夏休みの自由研究の一環として取り組んでもらう

- アンケート結果・・・ほぼ全員がまちづくりの知識・関心が高まり、授業満足度は約9割。
- パネル展開催・・・サンエー宜野湾コンベンションシティ 2階はごろもコートで実施。
- ⇒今回3年目で学年・学校数を増やし、全体的に評価をいただき、次年度以降も継続的に取組む予定。

■令和6年度 出前講座開催日程

| | 日時 | 開催場所 | 学年 | クラス |
|-----|--------------------------------------|--------------|----|-----|
| 第1回 | 8/2 (金) 13:00~15:30 | 新城 児童センター | | |
| 第2回 | 8/14 (水) 13:00~15:30 | 大山 児童センター | _ | _ |
| 第3回 | 1/17(金) 8:35~10:15 10:35~12:15 | 志真志小学校 | 6 | 4 |
| 第4回 | 2/6(木) ※予定 13:10~14:50 | 大山小学校 | 4 | 3 |





出前講座のようす (志真志小学校)

■パネル展開催(サンエー宜野湾コンベンションシティ)





